

日時：平成28年8月2日（火）

午前10時から

場所：前原暫定集会施設1階 A会議室

1 開会

2 平成28年7月までの実績報告

3 事務局からの報告事項

- (1) 教育委員会との連携について
- (2) 講演会・研修会の実施報告について
- (3) 次回講演会の開催案内について
- (4) 第三者評価の実施概要について
- (5) ペアレントトレーニングの実施概要について

4 平成28年度の業務評価報告書の作成について

5 次回開催日程について

6 その他

7 閉会

■配布資料

- 資料1 実績報告書
- 資料2 講演会・研修会の実施報告書
- 資料3 平成28年度三者評価の実施概要
- 資料4 東京都の第三者評価
- 資料5 ペアレントトレーニング講座の試行実施について
- 資料6 運営協議会委員の事業評価について
- 資料7 次回開催日程

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

平成28年8月1日現在

	平成28年										平成29年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	13件	9件	16件	13件									51件	
②相談支援事業（専門）	20件	47件	27件	34件									128件	
③相談支援事業（㊦）	23件	35件	32件	30件									120件	

	平成28年										平成29年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	22人	22人	22人	22人									-	
⑤放課後等デイサービス	50人	48人	50人	50人									-	
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	0人	1人									1人	
回数	0回	0回	0回	1回									1回	
⑦親子通園事業	15人	20人	25人	26人									-	
回数	4回	5回	10回	10回									29回	
⑧外来訓練事業	91人	92人	100人	103人									-	
回数	220回	225回	235回	228回									908回	

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（㊦）	相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数

きらり主催市民向け講演会開催報告について

1 開催日時

平成28年6月8日（水） 午前10時～正午まで

2 内容

「足の発達」～幼少時の歩き方が健康な足を作る～

3 講師

山田 千鶴子 先生（社会医学技術学院 学院長 理学療法士）

4 参加者

55名（定員120名）

※所属内訳

きらり利用者の保護者	18名
保育園職員	16名
医療機関	2名
不明	19名

5 アンケート結果（一部抜粋）

【本日の内容について】

- とても興味深い話でした。現在5か月半の男児がおります。発達を促さず、しっかりと段階を経て育てていきたいと思いました。
- 足のアーチについて、発達と絡めた話が聞けてとても参考になりました。山田先生も楽しくお話ししてくださって聞きやすく、楽しかったです。
- 娘が1歳3か月になり、伝い歩きはするが、一人で歩けずハイハイの時期が長く、周りの子どもが歩いているのを見ると、少し心配でしたが、本日の講演により、ハイハイを十分にやる事が足だけでなく、身体全体に与える影響があることが分かり、安心しました。また、普段足に対する意識が薄かったのですが、今後は意識を持ち子どもと接するようにしようと思います。
- ちょうど5歳男の子、3歳女の子がいるので、興味深い内容でした。私も外反母趾になっているので、勉強になりました。もっと早く聞いておきたかった！と思いました。
- 足の発達を取り上げてもらう講演は今まであまりなかったので、必ず出席したいと思ってきました。足はとても重要な身体の箇所なのに、意外と注目されづらいという印象です。靴の選び方など、本日は聞きたいことを聞くことができたので、大変勉強になりました。参加できてとてもよかったです。
- とてもよかったです。5歳以降等、すでに悪くなった子供に対しての対処法をもっとあ

ると嬉しいです。

○現在、保育園で0～2歳児の保育を行っているので、非常に勉強になりました。身体の使い方やバランスが悪い子が増えているように感じています。今日教えていただいたことを意識しながら、保育に活かしていきたいと思います。

○分かりやすかった。今後の仕事の参考になった。子どもの靴選びは、常日頃から、同じように話をしていたが、今回の話をきき、なぜそのような靴が必要かをより感じ用意してもらう保護者に対して、しっかり説明していきたい。

【今後聞いてみたいテーマ】

○遊び（集団・自宅でできる）

○きらりの施設の役割や、他施設との連携について

○自閉症児（発達障がい）の療育の実際（関わり方、支援方法など）

○子供の手の発達

○ダウン症児の足をテーマにした講演をお願いします。

○偏食（子供と大人）

○脳科学、脳の仕組みの話

○子供の発達に関して、保護者がすべきことを様々な視点で。

○自宅でできる簡単な運動法など

○関係の作り方、特に発達に困難さがあり、周囲と関係が作りづらかったり、家庭内での親子関係が難しい子育ての話。

○摂食指導、かむことの大切さについて。

【その他お気づきのこと等】

○保育があって有難かったです

○お子さん連れのために後ろ3列は開けてあげて、スペースもゆったりとってあげると、子供が楽しそうだし、出入りもしやすいと思います。

○ありがとうございました！！またこのような講座をお願いします。

○間に5分でいいので休憩を入れてほしいです

きらり主催支援者向け研修会開催報告について

1 開催日時

平成28年6月28日（火） 午後6時30分～午後8時30分まで

2 内容

「幼児集団で気になる子への支援」～あなたの園ではどうしてる？～

3 実施形式

(1) グループワーク（1グループ6～10名程度）

Aグループ群…専門機関へのつなぎ方・保護者支援

Bグループ群…困った行動への対応

Cグループ群…クラス運営や職員どうしの連携

(2) 講義

講師 星合 南（きらり所属 臨床心理士）

4 参加人数

74名（定員80名、申込79名）

※所属内訳（申込時点）

公立保育園 25名

私立保育園 40名

幼稚園 12名

学童保育所 2名

5 アンケート結果（一部抜粋）

【質問・感想】

Aグループ群

○今日はディスカッションの時間をたっぷりって頂いた研修会を開催していただき本当にありがとうございました。とても貴重な時間でした。

○子供を知るには大人の社会の連携をしながら将来の子どもの姿をみすえて行く事が大事とわかりました。同じテーブルに幼稚園・保育園の先生がいることで毎日の保育の実態が手に取るようにわかりました。きらりも含めて地域の子育て集団が力を合わせていけたら、ますます小金井の子どもの良い成長が見られると思います。

○幼・保で異なることはありましたが、それぞれの話を聞いて面白かったです。また、同じことを感じている部分も多くあったので、このような場に参加することで、とても勉強になりました。ありがとうございました。

○色々なお話を聞くことができ、今までどこまでやればいいのか、保護者支援、専門機関

へのつなぎ方について迷いがありましたが、手順等見えてきたように思います。

- 認可、認証、公立、民間、学童といろいろな園の先生方と話ができ、同じ悩みを抱えていることがわかり、とてもよかったです。まず、一時間半と言う長い（たっぷり）話ができただことは、他の研修にない、とても有意義な研修でした。今後も小金井の子どもに同じ支援ができることを望むとともに、色々な園や専門機関、小学校との交流も大切さを感じました。今回はこのような研修会を開催していただきありがとうございました。
- 色々な立場の人（きりりさん、他園、学童）から話を聞けて、良い機会になりました。なかなか話す機会がないので、情報共有や悩み共有もできたり、市全体の課題も見えてきたりして勉強になりました。ありがとうございました。
- 他園の方との話ができ、どのようなことで困っているのかや、どのように専門機関につなげたかを聞けて良かった。専門機関の職員のかたに各園に回ってきて欲しいなと思いました。
- Aグループでお話しさせていただいて、まだ自分が支援センターなどの機関と保護者、子どもをつなげたことがなかったが、保育園の職員の方の話を聞けてとても大変なことなんだと感じました。アプローチを間違えば、信頼関係を崩してしまう事にもなるので、伝え方や言葉選びをしていかななくてはいけないと思いました。今回の話の中で「保護者に伝え続けること」と「本人が（こどもが）困っているという伝え方をしていく」ことを忘れないようにしたいと思いました。また、相談があったときは一人で答えを出さず、保護者の考え方や気持ちをきいて、他の職員と話をすることも大切にしたいと思います。

Bグループ群

- 同じ地域の保育者の方と話し合う機会があってよかった。私は学童保育所なので、幼稚園、保育園の先生方の経過があって、今私が見ている子供たちがいるのだと思った。気になる子とまた明日からも向き合っていこうと思えました。
- 同じ悩みをもつ保育士とのグループワークを過ごして工夫していることや、保護者への関わり方のヒントをいただけたような気がします。
- グループトークなので、色々な話が聞けて良かった。ヒントが見つかったと思えました。欲を言うと時間がもっと早いと嬉しいです（集中力が持たない気がしました）
- 今年一年目の私にとって役に立つこと、勉強になることばかりでした。担任としてどのようにしたらよいのか悩み、考えていましたが、周りの先生方の話を聞いて少し視野が広がり、楽になりました。
- 他園での実践を聞いたことが収穫でした。また、同じようなことで困っていたり、それについて様々な手立てを考えている姿勢が励みになりました。日々保育に役立てたいと思います。ありがとうございました。
- 色々な園の子供の様子、保護者への伝え方を知ることができました。幼稚園の方の参加が少なく、その部分の話があまり聞けず少し残念でした。
- みなさんの対応の仕方などを知りとても参考になりました。保護者の方への伝え方なども担任の先生と進めながらやっていきたいと思いました。まずは子供を受け止め、様々

なことをやっていくことが大切なんだと改めて感じました。

- 参加するまでは緊張していたのですが、きらりの先生はじめ、皆さんが話しやすく、安心しました。それぞれの園での困った行動への対応などを聞け、勉強になりました。実のある時間でした。ありがとうございました。
- いつも聞けない他園さんの保育士さんの悩みを聞いて良かったです。同じ悩みもあり、また、共通理解を深めることができました。
- それぞれの園の困ったことなどを共有できて、共感できるところも多くありました。それぞれの困った行動に対して、答えを見つける事は難しいかなとは思いますが、皆さんのやっている事などを聞いて、参考に使いたいと思います。
- 他園の保育士さんの話、様々な事例を聞くことができたので、とても参考になりました。明日からさっそく困った子への対応、保護者への伝え方等、実際にやってみたいと思います。
- 講師の方のお話を聞く前にグループ討論だったので、話しやすさ、情報交換のしやすさを感じましたが、一方で自分の発言は間違っていないか不安になりました。

Cグループ群

- 日頃、自分の抱えている問題を聞いていただけたことと、それぞれの園でみな色々大変な思いをしながら日々保育していることで、また頑張っていこうという気持ちになった。一番困っているのは、その子本人ということのを忘れず、明日から保育をしていきたいと思う。ありがとうございました。
- 親が子の障がい認められない場合についての対応の仕方の話を聞くことができて、無理せず親のペースをみながら園として（職員の共有認識の下）丁寧に伝えていっていることが分かって少し安心しましたが、ジレンマを感じてはいます。子どもの為に。
- 様々な職場で様々な立場の方の現状を聞くことができ、参考になりましたし、考えさせられました。時間が短く、具体的に役立つ意見交換ができたのかは疑問だが…。厳しい職務環境の中で少しでも子供を理解し現状の改善のために研修に来られた方が多くいたことに感動します。このような機会がもっとあると良いと思います。
- 様々な園で働く保育者の方々とお話ができ、とても貴重な学びが出来ました。保育園は幼稚園と違い、時間が限られている中、保育者同士の連絡をして保育を作り上げていくことはとても難しいことで、課題がたくさんあることを知りました。保育者同士の話し合いの大切さを改めて感じました。ありがとうございました！
- 様々な職場の中でも、悩みが似通っている点があった。普段の状況をそれぞれ話しただけ、雑談に近い物を感じた。より、具体的な話ができるように言葉をつないでいけたらよかったなあ…。
- 他園のクラス運営の仕方や、職員間の連携について、現場の声を直接聞いたことが、とても有意義な時間でした。また、保育園と幼稚園の様子の違いについても学べる機会があり、とても新鮮でした。どの園においてもいかに保育の質を高めていくのか、子どもたちと寄り添っていくのか…について真剣に向き合い、考えている方達ばかりなのでと

でも刺激になりました。ありがとうございました。

- 色々な園のお話を伺い、人的環境には恵まれているのだと改めて感じた。星合先生のお話の中で、保護者がうちの子～ではないのですか？という相談に実際のこどもの姿をすぐに言ってしまいそうですが、どういうところでそう思いましたか？等、話をよく聞くという点がとてもためになりました。今後参考にさせていただきたいと思います。

【今後の講習会で聞いてみたい内容】

Aグループ群

- きらりでの具体的な活動事例
- 本日のようなディスカッションの機会をこれからも行っていただきたいと思います。本日はありがとうございました。
- 実践報告（困った子供がいるクラス）とかきけたらいいな…
- 小金井の発達支援計画（望んでいる事）などの体制的なところ。
- 保育園でもできる具体的支援、その子の苦手に対する支援。また、色々な方と話ができる機会があると良い。
- 今後も保護者支援について学びたいと感じた。

Bグループ群

- きらりでどんなことをしているのか、どんな授業なのか知りたい。
- やはりクラスで気になる子、困っている子の対応です
- 例をあげた具体的な事例
- 同じテーマで別の話も聞いてみたい
- 興味、関心に偏りがある子に対し、どのような支援をしたら良いかを知りたいです。
- 保護者対応について。クラス運営について。職場環境について。
- 感覚統合について
- 加配の必要性、あり方、保護者への対応のしかたなど
- 保護者への伝えかた、専門機関へのつなげ方等
- こどもの体幹の獲得の仕方。触覚防衛タイプの子にとって必要な教材おもちゃ。よく噛んで食事できる子になるためにどうしたら良いか。適切な声量の子どもへの伝え方。

Cグループ群

- 具体的な事例を検討し、支援について学びたい。
- より詳しい状況、エピソードでの対応、考察等、ケースでの講演、より具体的な手立て。
- どんな内容でもためになりますので喜んで聞かせていただきたいと思います。

平成28年度第三者評価の実施概要

1 対象事業

- (1) 児童発達支援事業
- (2) 放課後等デイサービス事業
- (3) 外来訓練事業（利用者アンケートのみ）※
- (4) 親子通園事業（利用者アンケートのみ）※

※市独自事業を評価する基準がないため、従前のアンケート内容を踏襲し実施する。

2 内容

- (1) 訪問調査
- (2) 利用者アンケート
- (3) 職員アンケート

3 実施事業者

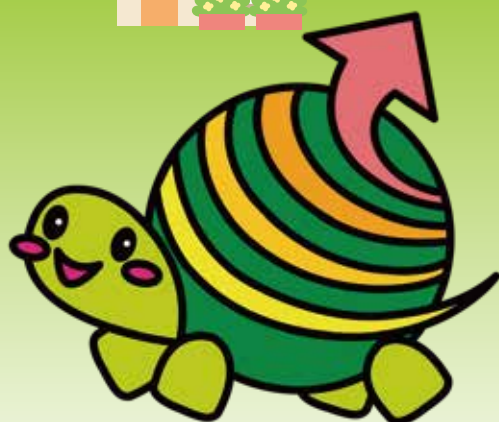
日本コンサルティング株式会社

4 実施日程

月	内容
9月	利用者アンケート調査開始
	職員アンケート調査開始
10月	経営層向けアンケート開始
12月	訪問調査
2月	評価結果の報告
3月	評価結果の公表

東京都の 福祉サービス 第三者評価

サービスの質を高める新たな”気づき”をもとめて



第三者評価マスコットキャラクター
『ひょうカメ』

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団
福祉情報部 評価支援室

〒163-0719 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 小田急第一生命ビル19階
TEL 03-3344-8515 FAX 03-3344-8595
相談・苦情受付番号 03-3344-8634
e-mail hyoka@fukushizaidan.jp

第三者評価の目的

第三者評価とは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

つまり、第三者評価の大きな目的は

- 「**利用者のサービス選択**」及び「**事業の透明性の確保**」のための情報提供
- 事業者の皆さんの**サービスの質の向上**に向けた取り組みの支援

の2点ということです。



第三者評価を実施するメリット



サービスの質を改善するための“気づき”が得られます。

評価結果と評価のプロセスから、サービスや経営の良い点や改善が望まれる点など、新たな「気づき」を得られ、福祉サービスや経営の質の継続的な向上が可能となります。

利用者調査を行うことで、潜在化した**利用者の評価や意向**を把握できます。



経営に詳しい評価者もいるため、**経営面で新たなヒント**を見つけることができます。



評価結果を公表することで、事業所をPRできます。

インターネットを通じて広く公表することで、事業の透明性を確保するだけでなく、サービス選択の情報源として利用者に活用していただけます。

利用者本人や家族、地域の皆さんに、事業者としての考えや取り組み、**事業所の強み**をPRできます。

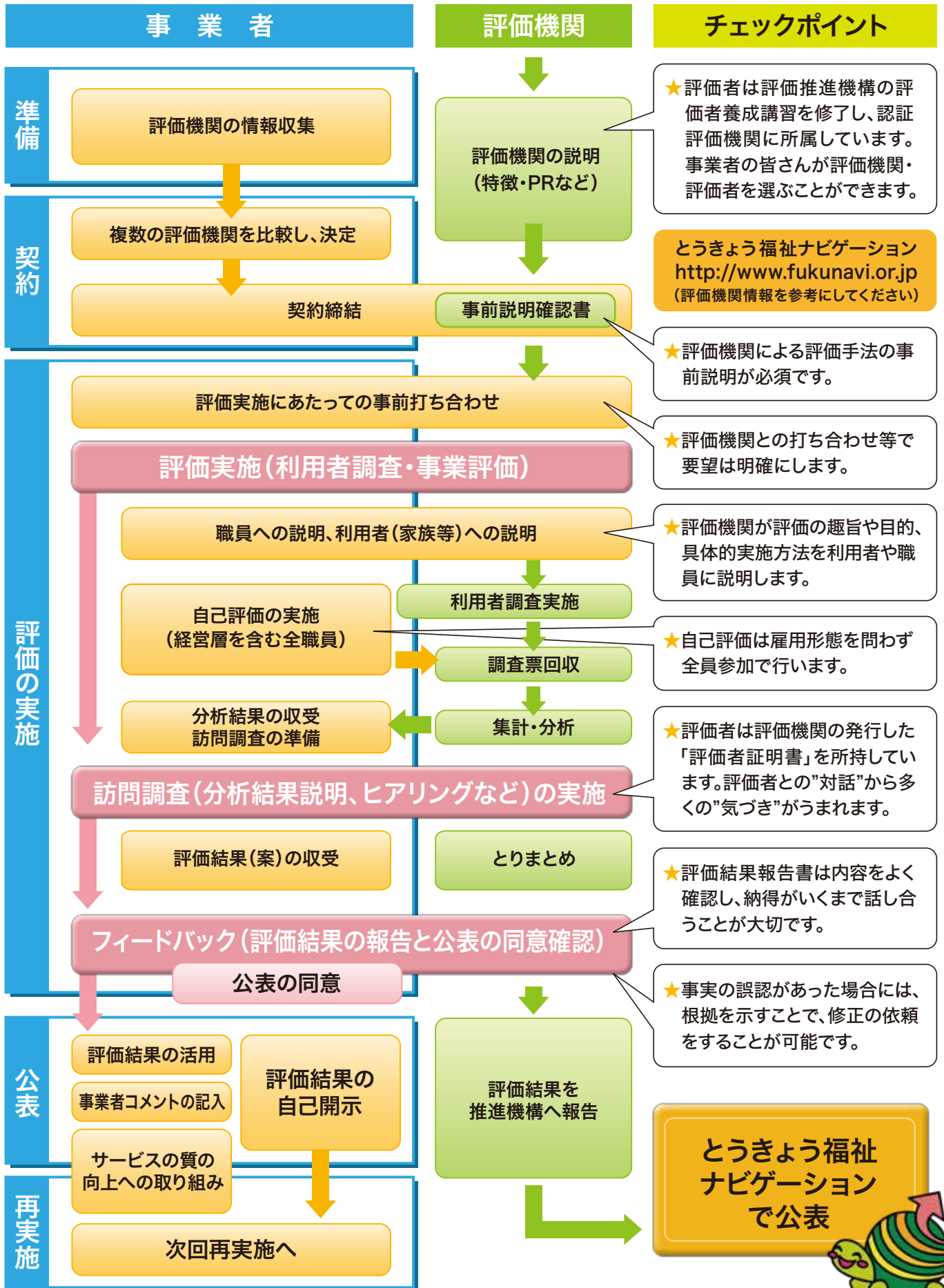


他事業所の取り組みと比較することで、**事業改善のヒント**を得ることができます。

「サービスの質の向上に役立っています」—評価を受けた事業者の皆さんより—

- 利用者や職員が、普段言うことのできなかつた生の声を知るきっかけになったと思う。
- 第三者の目で見られるということをきっかけに、職員が良い意味で緊張し、改善していこうという意識が高まったように思う。
- 多岐にわたる切り口で設問が出てくるため、日頃見過ごしたり気がつかないことについて、総点検でき定期的なチェックに役立つ。

一件の評価のながれ

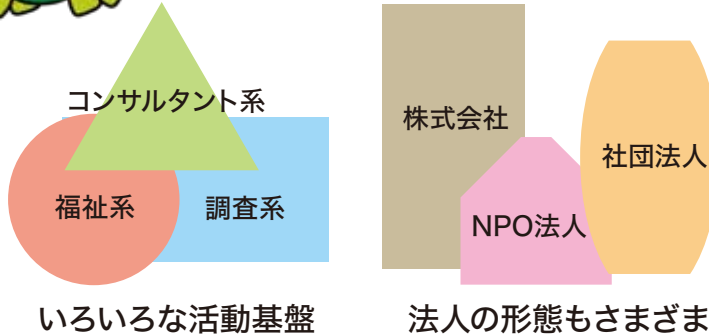


評価を実施する際のポイント



事業者のニーズに合った評価機関を選択することができます。

●東京都福祉サービス評価推進機構では多様な評価機関を認証しています。



福ナビ (<http://fukunavi.or.jp>) を参考に、「経営力を向上したい。経営に詳しい評価者がいて欲しい」、「提供しているサービスに詳しい評価者がいる評価機関に頼みたい」、といった観点で評価機関を探してみてください。



一部のサービスでは評価方式を選択することができます。

第三者評価には、「標準の評価」と費用面、作業量の負担が少ない「利用者調査とサービス項目を中心とした評価」があり、一部のサービスではどちらかを選択することができます。

第三者評価の具体的実施内容



第三者評価では利用者の声を聞く『利用者調査』と、事業者のサービス内容や組織経営を評価する『事業評価』を行います。

利用者・事業者双方が評価結果を有効に活用できるよう「重要な事項」「共通の尺度となる事項」という2つの視点から定めた「共通評価項目」を用いて調査を行います。

利用者調査

現在の利用者のサービスに対する意向や満足度を把握

○「利用者調査」は「アンケート方式」、「聞き取り方式」、「場面観察方式」が設定され、**利用者の状況に応じた方式**で行います。

利用者調査の質問例

- あなたにとって、個別プランで決めた事業所での活動やリハビリが家での生活に役に立っていると思いますか(通所介護【デイサービス】)
- 保育所で提供される食事・おやつは、子どもの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか(認可保育所)

事業評価

事業所の組織経営や現在提供されているサービスの質を評価するもの

○全職員による自己評価や訪問調査等をもとに、その事業所の状態を、評価機関が**総合的に**分析し、評価します。

事業評価(自己評価)の項目例

- 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者からみたサービスの現状・問題を把握している
- 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
- 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる

評価結果の公表

評価結果は、事業者の同意を得た上で、**とうきょう福祉ナビゲーション**（通称：福ナビ）で公表します。評価結果では評価を実施した評価機関や評価者の情報なども掲載しています。

まずは福ナビで検索！

福ナビ

検索

<http://www.fukunavi.or.jp>

ReadSpeaker
The Voice of the Web!

評価結果

▼事業者の理念・方針 ▼全体の評価講評 ▼事業者が特に力を入れている取り組み ▼利用者調査結果 ▼サービス分析結果 ▼事業者のコメント

評価結果全体版 評価結果概要版 ※印刷してご利用いただけます。

平成27年度

指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】

法人名称	
事業所名称	
評価機関名称	

評価結果公表内容

- ①「事業者の理念・方針・期待する職員像」
- ②「全体の評価講評」
- ③「事業者が特に力を入れている取り組み」
- ④「事業評価結果」
- ⑤「利用者調査結果」
- ⑥「事業者のコメント」

【評価結果概要版】は上記①②③⑤のみをまとめて特徴をコンパクトにご覧いただけます。

事業評価の結果は「**評点**」と「**講評**」で表します。

組織マネジメント分析結果

評価項目の評点

評価項目には、2から6個標準項目が設定され、その標準項目の内容が実施できている場合は●、実施できていない場合は●で表示されます。

カテゴリ 1. リーダーシップと意思決定

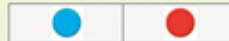
サブカテゴリ 1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

サブカテゴリごとの標準項目実施状況 7/9

評価項目 1. 事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している



評価項目 2. 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている



評価項目 3. 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している



【講評】 [詳細はこちら](#)

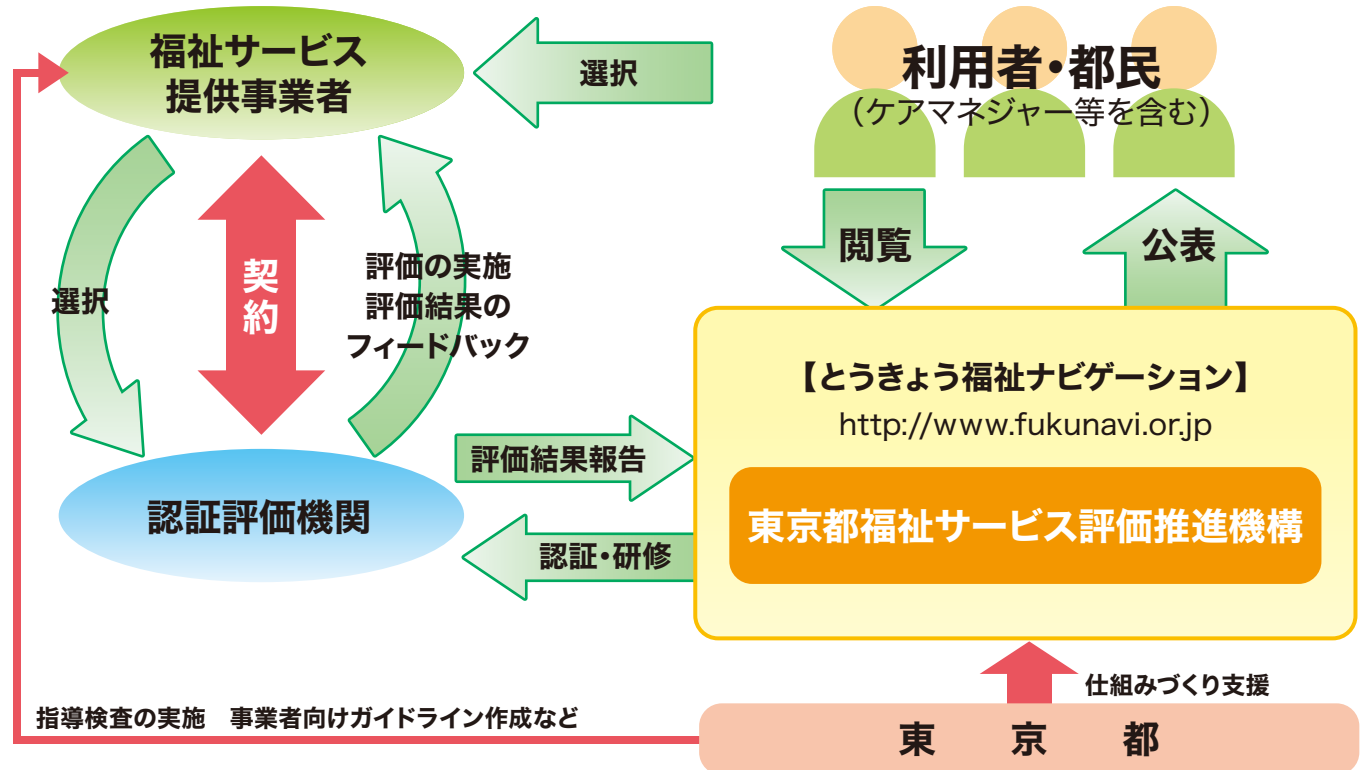
- ・ 研修・人事考課などにより、理念・方針と職員の日々の実践を結び付けている
- ・ 理念・方針を様々な手段で幅広く伝えている
- ・ 会議・PCの有効な活用により、部門間の連携を強化している

「講評」には事業者の取り組み状況などが記述され、評価内容が詳しくわかります。

● 福ナビでの評価結果の公表後に、「**事業者のコメント**」を追加することができます。評価結果に合わせて、伝えたいことがある場合には、積極的に書き込みを行って下さい。

東京都の福祉サービス第三者評価の仕組み

東京都福祉サービス評価推進機構は、2002年4月、財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団(現 公益財団法人東京都福祉保健財団)内に設置されました。評価機関の認証、評価者の研修、共通評価項目の策定、評価結果の公表等を実施し、福祉サービス第三者評価の普及・推進と定着を図っています。また、評価を実施した事業者へは、評価結果公表後に受審済みステッカーを配布しています。



福祉サービス第三者評価の Q & A

Q 評価機関はどのように選べばいいですか？

A “とうきょう福祉ナビゲーション”で評価機関の情報を公表しています。その情報をもとに、

- 活動基盤や経営形態、評価に対する考え方
- 所属評価者の経歴
- 過去の評価実績・評価内容
- 評価料金(評価機関ごとに異なります)

を選択のポイントとし、ご検討ください。評価機関の選択のためのチェックリストも公表しています。

Q 介護サービス情報の公表を実施すれば第三者評価を受けたことになりませんか？

A いいえ。両制度は目的において一部重なっている部分はありますが、事実のみの公表である介護サービス情報の公表制度と、第三者評価制度は異なった性質を持っています。利用者や職員も含めた事業所の現在の状況を適切に把握し、よりよい事業所としていくためには介護サービス情報の公表を前提とした上で第三者評価を実施することが必要であると言えます。

Q 評価結果は必ず公表しなければなりませんか？

A 公表を前提として評価機関と契約を交わしていただきます。公表内容については、評価結果のフィードバックの際に、お互い納得がいくまで話し合うことができます。その結果、納得がいかない場合は、評価結果を公表しないことも選択できます。



「ひょうカメ」

第三者評価マスコットキャラクター紹介

“一歩一歩着実に”サービス改善を行うことを表すモチーフとして亀をキャラクターに選定し、甲羅のスパイラルアップする矢印は、評価を受ける事で事業所のサービスの質を向上させていくことをイメージできるようにデザインしています。

よりよい仕組みとしていくために皆様のご意見をお寄せください。

e-mail hyoka@fukushizaidan.jp

ペアレントトレーニング講座の試行実施について

1 概要

日々の子育てにおいて「私って怒ってばかり…」「私の言うことを聞いてくれない」「どうやってかかわったらいいのだろう」と悩む保護者へ向け、児童の上手なほめ方、指示の出し方、困った行動への対応方法などを保護者が学び、実践していくためのプログラム。少人数でのグループワークを行い、児童への支援方法を学ぶ。

2 対象者

相談支援事業の利用者のうち、4歳～10歳程度までの児童の保護者6名程度

3 参加条件

プログラム全6回に参加できること

4 実施日時

(1) グループワーク（全6回 午前10時～正午まで）

8月17日、24日、31日、

9月14日、28日、

10月19日

(2) フォローアップ講座（全1回 午前10時30分～正午まで）

平成29年2月1日

5 実施者

きらり所属の臨床心理士

運営協議会委員の事業評価について

1 評価対象事業

- (1) 児童発達支援事業
- (2) 放課後等デイサービス事業
- (3) 外来訓練事業
- (4) 親子通園事業

2 評価項目

- (1) 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？
- (2) 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？
- (3) 事業計画に沿った運営がされているか？
- (4) 清潔に保たれているか？
- (5) 事故の無いように配慮されているか？
- (6) 事業内容を十分理解しているか？
- (7) 質問に明確に答えられているか？
- (8) 働きやすい現場となっているか？
- (9) 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？
- (10) 総合評価

3 評価方法

AからEの5段階で評価を行う。

- A：十分である
- B：やや十分である
- C：どちらともいえない
- D：やや不十分である
- E：不十分である

小金井市児童発達支援センター運営協議会開催日程

1 次回以降の予定

回	開催日	時間	場所
第3回	平成28年11月8日(火)	午前10時から正午まで	未定
第4回	平成29年3月14日(火)	午前10時から正午まで	未定